

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号 66-0791
施設名 キッズタウンにしおおい
施設所在地 東京都品川区西大井2-5-21
法人名 社会福祉法人こうほうえん

1. 活動のテーマ

自然【自然物を使って遊ぼう】

<テーマの設定理由>

当園は、桜の木や銀杏の木、紫陽花など緑豊かな自然に囲まれており、園庭では、レモンやキウイ、さくらんぼ等の果実が実る木々を育てている。自然物を取り入れながらごっこ遊びをしている子ども達の遊びが、さらに発展できるような保育を実践したいと思った。

2. 活動スケジュール

戸外遊び（園庭、公園など）…各60分程度を週3～4日

製作活動…月1～2回

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

☆園庭

- ・園庭の砂場玩具を増やした。（弁当箱やプレート、型抜き等）
- ・園庭で拾った落ち葉や木の実等の自然物をつかったごっこ遊び

☆製作

- ・地域の公園へ松ぼっくりを拾いに探索活動へ行く。
- ・松ぼっくり、絵の具

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

園庭：見立て遊びが盛んな子ども達であったが、砂場の玩具が新しくなると、砂や落ち葉を上手に活用しそれぞれがオリジナルの弁当を作ることを楽しんでいた。一人が遊び始めると、「やりたい！」と子ども達が集まってきて、落ちている花びらを飾り付けたり、砂の量や配置等にもこだわりながら弁当作りごっこは繰り返して行われていた。友達や保育者に出来た物を嬉しそうに見せ合ったりして、ごっこ遊びにも発展する姿が見られた。

製作：探索活動で木の実やどんぐり、松ぼっくりを集め「持って帰りたい！」という子ども達が多くいた。また、「これで何か作れるかな？」という子どもの声や、戸外でのごっこ遊びに取り入れる子どもの姿も見られていたので、製作活動にも取り入れた。クリスマス製作では、松ぼっくりに絵の具で色付けすることを楽しんでいた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

園庭：玩具が充実することで子どもの遊びが広がり、それが子ども同士の遊びにも発展していくのだと改めて感じる事ができた。特に、戸外では、自然物に触れ合うことで子ども自身で考えたり工夫する姿が見られ、保育者としても子どもの自由な発想を受け止めることができ、見立て遊びが好きな子ども達の遊びを広げていく事ができた。

製作：戸外活動で楽しんでいたことを製作活動にも取り入れていったことで、子どもも意欲的に参加することができ、遊びの発展や興味関心に繋げることができた。